

# 令和8年度 庄原市研究主任研修会

令和8年6月12日（金） 庄原市総合体育館

研究主任が校内研修の充実を通じて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るためのリーダーシップを発揮できるようにすること、教師の学び合いを支える校内研修の在り方を検討し、全教職員の授業力向上と学校全体の教育の質の向上に資する体制づくりを推進する視点を養うことを目的に研究主任研修会を実施した。

## 【講話】「研究主任の役割」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 堀 智仁

- 研究主任は、①研究推進計画の立案・実施・まとめ②研究推進に係る連絡調整・体制づくりの大きく2つの役割がある。
- 学校自体を教師の学びのコミュニティと捉えて機能させていくことが重要。研究推進の要となり、全教職員で研究推進に臨むことが必要である。

## 【研修報告】「主体的・対話的に学び続を深める生徒の育成を目指した、互いの強みを生かした参加型の組織づくりについて

ーファシリテーション基礎スキルを生かした共創的な対話のある校内研修を通してー

庄原市立高野中学校 教諭 久保田 園子



- 令和7年度教員長期研修で取り組んだ校内研修の充実に向けた研究について報告を行った。
- ファシリテーション基礎スキル（①場づくり②グループサイズ③問い④見える化⑤プログラムデザイン）を用いて、共創的な対話の充実、心理的安全性が担保される校内研修の進め方を実践した。
- 今年度はバディ制度を導入し、教職員が互いに評価・助言を行い、他者の実践から学ぶことができるようにしている。

## 【協議】「校内研修の充実に向けて」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 堀 智仁



- 自校の校内研修を振り返り、他校の校内研修について知ることを通して、今後の校内研修の充実を図る。
- 研究授業を中核とした授業改善サイクルの確立を図っていくために、研究授業一つ一つにつながりをもたせる必要がある。
- 全教職員が研究推進に共通認識を持って取り組むことが重要である。

## 【参加者の感想等】

- 授業研究を教員がベクトルをそろえて進めていくために、教員間での共通認識を図る時間をつくりたい。
- 事前協議や事後協議で先生方が活発に安心して話ができる環境づくりをしていきたい。
- 研修報告で紹介のあった「えんたくん」などのツールを使って、話し合いがより充実する方法を考えていきたい。
- 他校の研修の取組、授業研究について交流できたことにより新たな視点をいただいた。
- 学校同士のつながりを研究等に活用していきたい。